

大和証券グループの価値創造モデル

社会的課題			
社会変化に伴う「不確実性」の高まり			
個人		企業/国・地方	
人生100年時代 <ul style="list-style-type: none"> 長寿化への対応 <ul style="list-style-type: none"> 健康・介護・経済的問題 相続対策 老後のライフスタイル多様化 	格差・多様性拡大 <ul style="list-style-type: none"> 終身雇用の崩壊 所得格差の拡大 情報発信・情報共有手段の多様化 	経営環境の激変 <ul style="list-style-type: none"> 国内市場の縮小 デジタル・トランスフォーメーションへの対応 異業種間競争の激化 グローバル競争の激化 	財政逼迫 <ul style="list-style-type: none"> 地域格差の拡大 社会保障負担の増加 老朽インフラへの投資 <ul style="list-style-type: none"> 財政健全化困難

大和証券グループの資本・強み (数値は2017年度実績・2017年度末時点)		
財務資本 <ul style="list-style-type: none"> 自己資本 1兆2,731億円 連結総自己資本規制比率 22.3% 	人的資本 <ul style="list-style-type: none"> グループ連結人員数 1万6,088人*1 CFP保有者数 742人*2(金融機関1位)*3 相続プランナー認定®認定者数 434人 2017年度アナリストランキング3位(日経ヴェリタス・ランキング) 	社会的資本 <ul style="list-style-type: none"> 世界20カ国・地域の拠点 国内155拠点(2018年8月時点) コンタクトセンター 820席 多彩なアライアンス先との協働体制
経営自由度の高い独立系証券モデル		<戦略を支える土台>透明性・客観性の高いガバナンス体制

*1 連結グループ会社および大和住銀投信投資顧問などの合計数値
 *2 6科目合格者で認定手続き中の者を含む
 *3 日本FP協会発表値にもとづく

ビジネスモデルの活用			
グループ基本戦略			
財務・資本	人事	IT	リスクマネジメント
<ul style="list-style-type: none"> 成長投資の実行 資本効率性の向上 財務健全性の堅持 株主還元強化 	<ul style="list-style-type: none"> 社員の生産性No.1 社員の活躍度No.1 社員の働きがいNo.1 	<ul style="list-style-type: none"> 業務プロセス改革・生産性向上 次世代オフィスインフラ構築 情報プラットフォーム構築 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル金融規制対応 サイバーセキュリティ マネー・ローンダリング対策
デジタル・トランスフォーメーション		ビジネス革新・生産性向上	
クオリティNo.1のコンサルティング力による「付加価値」の高いソリューションの提供		ハイブリッド型総合証券グループとして「新たな価値」の提供	
リテール部門	お客様本位の営業体制構築 お客様ニーズを捉えたプロダクト・サービスの提供	外部チャネル・リソースの活用、ニュービジネスラインの創出 ▶ グループ各社との連携	金融手法の多様化×ビジネス領域の拡大による事業創造 アジアの成長果実の提供とグローバルM&Aネットワークの強化
ホールセール部門	企業の高付加価値化の促進	事業構造や日本の産業構造の転換の支援 ▶ 投資部門との連携	
アセット・マネジメント部門	資産運用を通じた豊かな社会・国民生活の実現	オルタナティブ投資商品の拡大	
その他	未来へ導く総合シンクタンク	証銀連携ビジネスモデル2.0	

大和証券グループの価値創造ストーリー

1. 当社グループの最も重要な資源である人材を磨き上げ、クオリティNo.1のコンサルティングを提供することで、人生100年時代において多様化する個人のライフプランの実現に貢献します
2. テクノロジーの進展により産業構造が変化するなか、社会に新たな価値を提供するための投資や企業の資金調達支援を通じて、次世代の産業育成やさらなる企業価値の向上に貢献します
3. 海外と日本との相互の投資機会を提供することを通じて、日本が世界経済の発展とともに成長することに貢献します
4. 安定した財務基盤および社会インフラ機能を維持することにより、金融資本市場全体の信頼構築に貢献します

共通価値の創造 (数値は2017年度実績・2017年度末時点)

再投資

経済的価値 (財務)		社会的価値	
再投資		リテール部門	国民のライフプランに応じた資産形成を支援 <ul style="list-style-type: none"> ■ 残あり顧客口座数 298.9万件 ■ オンライントレード契約口座数 321.4万件 ■ NISA開設口座数(累計) 82.9万件 ■ ラップ口座サービス契約件数 13.4万件
		純営業収益 2,142億円 経常利益 513億円	お客様満足度の向上 <ul style="list-style-type: none"> ■ お客様満足度 4.86(7段階中) (大和証券2017年度お客様アンケートより/回答数約12.1万件)
		ホールセール部門	国際分散投資機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ■ 外貨資産預り残高(非開示)
	純営業収益 5,053億円 経常利益 1,556億円 親会社株主に 帰属する純利益 1,105億円	純営業収益 1,711億円 経常利益 453億円	企業の資金調達支援・企業再編支援 <ul style="list-style-type: none"> ■ リーグテーブル 株式公募・売出し 1位 新規公開 2位 普通社債 2位 M&A(公表案件/取引件数ベース) 9位
		アセット・マネジメント部門	社会課題解決のための資金調達支援 <ul style="list-style-type: none"> ■ インパクト・インベストメント債券販売額 累計*6,858億円 * 2008年3月~2018年3月末
配当性向 41.9% 1株当たり通期配当 28円 株主への総還元性向 75.2%	純営業収益 493億円 経常利益 291億円	ESGに配慮した投資信託・ETFの開発 <ul style="list-style-type: none"> ■ SRI投資信託運用残高(グループ合計) 1,465億円 	
ROE 8.8%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公募株式投資信託残高 大和証券投資信託委託 14.1兆円 大和住銀投資信託顧問 2.2兆円 ■ 不動産AM運用資産残高 8,832億円 	高齢化社会におけるヘルスケア施設の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ■ 日本ヘルスケア投資法人の保有する老人ホーム・高齢者向け住宅の提供居室数: 1,598室(2018年4月末) 	
預り資産残高 68.1兆円	投資部門	新産業への投資 <ul style="list-style-type: none"> ■ 大和企業投資 投資ファンド累計額 4,173億円 	
	純営業収益 274億円 経常利益 244億円	再生可能エネルギーの開発・投資 <ul style="list-style-type: none"> ■ 太陽光発電所 出力50.3MW ■ バイオマス発電所 出力 6.2MW 	
		資本市場の安定性・信頼性向上 <ul style="list-style-type: none"> ■ 連結総自己資本規制比率 22.3% ■ 格付 S&P: A- (大和証券グループ本社)、A (大和証券) Moody's: Baa1 (大和証券グループ本社)、A3 (大和証券) ■ 決済処理件数 年間約280万件 	
		働きがい改革 <ul style="list-style-type: none"> ■ 生産性向上への取組み ■ さまざまな制度導入 	

これらの価値創造のサイクルによって、健全な利益の確保を通じた持続的成長を目指す